



第113号 ～礼儀と節度を考える～

平成武師道 (人間活動学)

勇(挑戦)

005 多くの声援が勇気を与えてくれた

空手や格闘技の大会。

プロとしてリングの上で闘ってきました。

私よりも大きな体の選手との闘いがほとんど。

負けることもありました。

もうリングに上がるのが怖くて逃げたいと頭に浮かびます。

試合会場。

リングに向かう花道に入る前の扉の前での待機。

一番嫌な時間です。

試合をせずに帰りたい。

それでも私のテーマ曲が会場に鳴り響く。

係員のお兄さんが「佐竹さん、どうぞ」

扉が開いた瞬間、何万という人々の声援が私を襲います。

頭が一瞬、真っ白。

「佐竹、行け～！頑張れ～！」

もう恐怖なんてどこかに飛んで行きました。

あとはもう闘うだけです。

多くの声援に後押しされ、心のネジが巻けました。

声を掛けられ、気が付いた時、一歩前に踏み出す勇気が湧いてきたのです。

それはたった一人でも声を掛けてくれるだけでも同じです。

必ず勇気が湧くはずで。

声を掛けてくれる人がいることを幸せに思います。

